

平成21年9月10日
於
府中市立教育センター

平成21年第9回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成21年第9回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成21年9月10日(木)
午後1時30分
閉 会 平成21年9月10日(木)
午後2時37分
- 2 会議録署名員
委 員 崎 山 弘
委 員 北 島 章 雄
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 谷 合 隆 一 委 員 北 島 章 雄
- 4 欠席委員
なし
- 5 欠 員
1 名
- 6 出席説明員
教育長職務代理者 糸 満 純一郎 文化スポーツ部次長 齋 田 文 雄
兼教育部長 兼生涯学習スポーツ課長
教育部次長 高 橋 脩 二 文化財担当副主幹 英 太 郎
兼総務課長 スポーツ振興推進担当副主幹 安 齋 勉
教育部副参事 田 中 陽 子 兼国体準備担当副主幹
兼学務保健課長 生涯学習推進担当副主幹 山 村 仁 志
教育部副参事 酒 井 泰 美術館副館長 石 井 順 子
兼指導室長
学校耐震化等推進 宮 本 正 男
担当主幹
総務課長補佐 河 野 孝 一
給食担当副主幹 新 藤 純 也
指導室長補佐 桑 田 浩
指導室副主幹 師 岡 政 行
統括指導主事 金 子 真 吾
指導主事 出 町 桜一郎
指導主事 長 井 満 敏
指導主事 国 富 尊
指導主事 乙 幡 英 剛
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議 案

第30号議案

府中市文化財保護審議会委員候補者について

第4 報告・連絡

- (1) 給食展・大試食会の開催について
- (2) 平成21年度「府中の教育を語る会」実施案について
- (3) 平成21年度夏季休業中水泳指導実施報告について
- (4) 第16回府中市生涯学習フェスティバルの開催について
- (5) 第13回みんなのスポーツ day の開催について
- (6) 第52回府中市民体育大会秋季大会の開催について
- (7) 企画展「多摩川で／多摩川から、アートする」について

第5 その他

- (1) 新型インフルエンザへの対応について

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成21年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、崎山委員と北島委員にお願いします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日とします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 傍聴希望者が1名おりますが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、お願いいたします。

議案の審議に入ります。

傍聴の方に申しあげます。第30号議案につきましては、資料に個人情報に記載されておりますので、資料の配布を省略させていただいております。ご了承ください。

_____ ◇ _____

◎第30号議案 府中市文化財保護審議会委員候補者について

○委員長（久芳美恵子君） 第30号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いします。

○文化財担当副主幹（英 太郎君） 府中市文化財保護審議会委員候補者についてご説明いたします。資料をご覧ください。

府中市文化財保護審議会は、府中市文化財の保存及び活用に関する条例の第45条において、教育委員会への設置が規定されている審議会でございます。

同条例では、審議会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査、審議し、これらの事項を教育委員会に建議することとされております。

審議会は、委員10人以内をもって組織すると規定されており、委員は文化財に関し、広くかつ高い識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱することになっております。

委員の任期は2年で、現在の委員につきましては、平成19年10月1日からの任期が、本年9月30日で満了となりますことから、ここで次期の候補者についてお諮りするものでございます。

次期委員候補者につきましては、いずれの方も再任でございます。

よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。

10名の方の名前がございます。また、部門等のご専門もございます。

では、ご意見等がございましたら、どうぞ。はい、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） 2年前も同じ審議をやって、2年前は確か入れかわりがあったような気がするのですが、そのときにそれぞれの方の略歴みたいなものを紹介していただい

た覚えもありますので、今回、全員再任ということなので、私としてはこの皆様方でいいと思います。

○委員長（久芳美恵子君） そのほかに何かご意見等ございますでしょうか。

特に異議はないと認めますので、原案どおり決定させていただきます。よろしく願いいたします。

議案は、この1件のみでございます。



◎給食展・大試食会の開催について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡に移ります。

報告・連絡（1）につきまして、学務保健課、お願いいたします。

○給食担当副主幹（新藤純也君） それでは、給食展・大試食会の開催について、資料に基づき説明いたします。

1の趣旨ですが、本事業は、給食センターで提供している「安全でおいしい給食」について、より多くの保護者や市民に試食や体験をしていただくことにより、学校給食についての理解を広め、食への興味や関心を深めるため実施するものでございます。

2の日時でございますが、平成21年10月24日、土曜日、午前10時から午後3時まで、大試食会は午前11時から午後2時でございます。

3の場所でございますが、第一及び第二学校給食センターでございます。

4の内容は、次の（1）から（6）のとおりでございますが、当日の混雑を緩和するため、10月17日、土曜日に試食券の前売りを市政情報センターで行います。ただし、市内におけるインフルエンザの感染状況によっては、前売りを実施せず、すべて当日販売することも、現在、検討しております。

5の周知でございますが、市民への周知は、10月11日発行の「広報ふちゅう」に記事掲載します。また、市立小・中学校児童・生徒、保護者へはチラシの配布、各文化センター、市内幼稚園、保育所にはポスター掲示を行います。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 毎年、好評を得ております給食展・大試食会でございます。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） ぜひ内容のところ、この試食はいくらかかっているということも書いてもらいたいと思います。なぜかという、未納問題があります。ここに未納問題を持つてくるのは、ちょっと問題があると思うのですけれども、これだけの給食をやるのにこれだけの経費がかかっているのだと。今回は1食100円で提供しているけれども、本当の原価はこれだけかかっているのだということを市民に広く知ってもらうことも必要ではないでしょうか。あるいは、そこまでやることもないかもしれませんが、他市ではいくら給食費を払っているということも出してみると、関心を持って見てくださる方がいるかもしれない。もし可能なのであれば、その経費に関するものも内容に含めていただければと思います。

○委員長（久芳美恵子君） では、その点よろしく願いいたします。

ほかにかがででしょうか。

私のほうから1点ですが、救急の体制についてはどのようになっていますでしょうか。

○給食担当副主幹（新藤純也君） 救急とは、例えばけが人が出た、そのような場合でよろしいでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい。

○給食担当副主幹（新藤純也君） その当日、給食展に看護師を1人お願いいたしまして、1日、事務所にいていただいて、緊急のことがあった場合は対応いただくことになっております。

○委員長（久芳美恵子君） よろしくお願いいたします。

あと、前売りの場合は、1人何枚という制限はつけていらっしゃいますか。

○給食担当副主幹（新藤純也君） 前売りにつきましては、1人2枚まででございます。当日も同じように考えております。

○委員長（久芳美恵子君） インフルエンザ等をかんがみて、当日販売だけにするかどうかというのは、今後のことでございますね。

ほかにはいかがでございますでしょうか。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） そのインフルエンザの対応なのですけれども、どのような状況だとどうなるのだという詳しいことは決まっているのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○給食担当副主幹（新藤純也君） 給食展につきまして、インフルエンザの状況によって前売りを中止にするという基準なのですが、市立学校の過半数の学校で学級閉鎖または学年閉鎖、それから学校閉鎖が行われている状況の場合は、中止または延期とするという、こちらの規定に従いまして考えているところでございます。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。そういうことでございます。

ほかにはいかがでございますでしょうか。

特に異論はないようでございます。報告・連絡（1）給食展・大試食会の開催について、了承いたします。



◎平成21年度「府中の教育を語る会」実施案について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、次に報告・連絡（2）について、指導室、お願いします。

○統括指導主事（金子真吾君） それでは、平成21年度「府中の教育を語る会」実施要項についてご説明申し上げます。

目的といたしましては、東京都教育委員会の「東京都教育の日」の趣旨を踏まえまして、府中市においても「府中市学校教育プラン21」に基づき、府中市の教育の日として市民の教育に対する関心を高め、子どもたちの教育について、保護者、地域、学校、教育委員会がともに考える機会として、「府中の教育を語る会」を実施していきます。本年度で第5回目ということになります。

日時は、平成21年11月7日、土曜日、午後2時から4時半までを予定しております。

会場は、生涯学習センター講堂を予定しております。

内容につきましては、まだ研究発表の細かい内容は決まっておりませんが、「環境教育の充実」というテーマについて、話を進める予定でございます。

（2）は趣旨説明、こちらは教育委員会指導室から、大まかな内容を説明させていただきま

す。代表小学校については、今年度、芝生を植えました第五小学校、ゴーヤを全体の取り組みとして実施しておりますが、代表といたしまして南町小学校、CO₂削減の東京都全体の取り組みとして新町小学校ということで、それぞれの学校から児童が発表をいたします。中学校については、生徒会代表もしくは学校一同ということで、現在、調整をしております。

(3) パネル討論については、コーディネーターに東京農工大学大学院の准教授、朝岡幸彦氏をお願いいたしまして、パネリストといたしましては、「さっちゃんごみの話」ということで、副読本の編集委員長をされております住吉小学校の伊藤校長が校長代表として参加いたします。児童・生徒については、これも現在、調整をしているところです。P連の代表についても、現在、調整中ということです。

(4) 講評といたしましては、研究発表も含めまして、パネル討論の内容も踏まえて、朝岡先生をお願いしております。

参加は、広く市民の方に呼びかけまして、200名を予定しております。

以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) 説明ありがとうございました。

今、「府中の教育を語る会」、内容的には環境教育の充実ということのようでございますが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

一つよろしいでしょうか。第五小学校と南町小学校の場合は、芝生化とゴーヤということで、非常に具体的にわかるのですが、新町小学校のCO₂削減というのは、例えばどのような活動なのでしょう。

○指導主事(長井満敏君) 本年6月に、CO₂削減アクション月間ということで、東京都教育委員会が中心となった事業を実施いたしまして、そこに府中市内の全小学校が参加したという形になります。

基本的な取り組みといたしましては、5年生がシートを使いまして、例えば電気を消したら、その分CO₂がどれだけ削減されるという数値化をして、5年生がどれだけCO₂の削減に貢献したかというような形で取り組みをいたしました。

新町小学校の場合は、1年生から6年生まで全学年、全学級でその取り組みを行ったということで、今回の代表という形をお願いしたという経過がございます。

○委員長(久芳美恵子君) そうしますと、電気を消すというのは、学校の中で、朝の時間に教室の電気を消すとか、そういう活動ですか。

○指導主事(長井満敏君) 基本的には、家庭生活の中で子どもたちができることということで、主に電気ですとか、それからガス、水道というような幾つかの領域に分かれていまして、それができたら、丸が1個についてそれぞれの項目ごとにCO₂の削減量が示されておまして、それを合計したもので、つい先だって、東京都全体でどれだけCO₂が削減されたかというのが、都の教育委員会から公表になったところでございます。

○委員長(久芳美恵子君) 家庭での活動ということですか。

○指導主事(長井満敏君) はい。

○委員長(久芳美恵子君) ほかにいかがでしょうか。

もう一つ質問したいのは、コーディネーターをしていただく朝岡先生ですが、ご専門はどのような分野でしょうか。

○統括指導主事（金子真吾君） 地域の社会教育全般的な視点からと、あと環境教育についても造詣深く研究されているということで、今回、お願いをいたしました。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） はい、ありがとうございます。

ほかにはよろしゅうございますでしょうか。

それでは、報告・連絡（２）平成２１年度「府中の教育を語る会」実施要項について、了承いたします。



◎平成２１年度夏季休業中水泳指導実施報告について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（３）につきまして、同じく指導室、お願いいたします。

○指導室長補佐（桑田 浩君） それでは、平成２１年度夏季休業中水泳指導実施報告につきまして、お手元の資料３に基づきましてご説明いたします。

初めに小学校ですが、開設期間及び日数につきましては、記載のとおりでございます。参加児童数は、延べ６万３、０９１名、前年度比９、８８７名の減となっております。また、１日当たりでは１７０．１名で、前年度比、約３０名の減でございます。指導教員は、１日平均４．５名でございます。

続きまして、中学校ですが、開設期間及び日数につきましては、こちらも記載のとおりでございます。参加生徒数は、延べ７３５名で、前年度比４８７名の減でございます。１日当たりでは１２．５名、前年度比、約５名の減となっております。指導教員は１日平均１．６名でございます。

夏季休業中水泳指導につきましては、事故防止に万全を期するよう学校へ指導を行うとともに、実施に当たりましては、教員のほかに指導員を配置し、事故防止に努めております。

なお、学校からの事故などの報告はございませんでした。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 水泳指導の報告でございます。何かご質問、ご意見等ございますか。はい、お願いします。

○委員（谷合隆一君） 今年の夏は暑い日が少なかったように記憶していますが、この水泳の指導日を、気温でとか水温でとか、開催する、しないというのはどう決定しているのかと、あと何度ぐらいで決定しているのか、おわかりでしたら教えてもらえますか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○統括指導主事（金子真吾君） およそ４５度、気温と水温の合計ということで目安にしております。ただ、風が吹いている状況や、雨が降ったりということで、多少、考慮する場合があります。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいですか。

○委員（谷合隆一君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） 今年の水泳指導は、インフルエンザの影響というのは、どのぐらい、あったのかなかったのかも含めて、どのようにお考えでしょうか。また、学校からそうい

うご意見というか、上がってきているかどうかも含めて、お願いします。

○**統括指導主事（金子真吾君）** 実質的には、第三小学校と南白糸台小学校がインフルエンザということで、その閉鎖期間を設けて行わなかったことはございますが、他については、予定どおり開催しております。

以上でございます。

○**委員長（久芳美恵子君）** ありがとうございます。学校の開催状況はそれでよくわかったのですが、延べ人数での減が9,000人台ですよ。やはりこの数というのは、随分多いなど。やはり親御さんがちょっと控えさせたとか、そういうこともあるのでしょうか、この辺は。

○**指導主事（国富 尊君）** 夏季休業中に、指導主事が各学校へヒアリングということで回っております。その中で伺ったことですが、やはり今年の夏は天気の良い日が少なかったということで、それぞれ校長先生、体育の担当の先生からは、なかなか気温が上がらない状況の中で、参加する児童・生徒数が少なかったという状況でございます。

以上でございます。

○**委員長（久芳美恵子君）** ありがとうございます。

はい、お願いします。

○**教育部副参事兼指導室長（酒井 泰君）** 昨年度との比較で9,000人程度、減ということになってはいますが、逆に昨年度は、とても暑かったということでございまして、一昨年度から比べると人数が増えたり、それから今年、ちょっと気温が低かったということで、その差が非常に大きいということ等も影響しているのではないかと考えております。

以上でございます。

○**委員長（久芳美恵子君）** いろいろ気候に左右されることが多い行事ですので、わかりました。そういうことではございますが、ほかに何かご意見、ご質問等はよろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（3）平成21年度夏季休業中水泳指導実施報告について、了承いたします。



◎第16回府中市生涯学習フェスティバルの開催について

○**委員長（久芳美恵子君）** それでは、報告・連絡（4）につきまして、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○**生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君）** それでは生涯学習スポーツ課から、生涯学習フェスティバルについてご報告いたします。お手元の緑色のチラシをご覧ください。

生涯学習フェスティバルは、市民の生涯学習成果の発表を目的に毎年開いており、今年で16回目を迎えます。本年度からは公募による市民の実行委員会を設立し、企画段階から協働して運営しており、「みんなでつくろう！ひろがる出会いと学びの輪」をキャッチフレーズとして開催するものです。

期間は、明日9月11日（金）から13日（日）の3日間で、生涯学習センターが会場となっております。

内容につきましては、特別講演会「日本はどう未来を切り拓こうとしているのか」を開催するほか、市民作品展、ワークショップ、市民発表会、サウンドフェスティバルなど、多くの市内学習グループ、そして多くの市民の皆様の日ごろの生涯学習の成果を発表いたします。「学び

返し」を通じた市民の教育力に接するチャンスですので、この機会にぜひご覧いただきたいと思ひます。会期中の細かいスケジュールにつきましては、裏面に記載のとおりです。

次に、黄色いチラシ「こどもサイエンス手づくり工作で楽しもう」をご覧ください。シャボン玉づくりなど、記載のワークショップを用意し、生涯学習ボランティアの皆様がご案内いたします。子どもからお年寄りまで楽しめる内容となっております。チラシは各文化センターなどの施設に置いてあるほか、近隣の学校にはすでに配布させていただいております。ご周知いただければ幸いです。

以上で生涯学習スポーツ課からの報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

企画の段階から市民の方たちが参加なさっている、大変すばらしい試みだと思ひますが、いかがでございましょう。生涯学習フェスティバルでございます。はい、お願いいたします。

○委員（北島章雄君） 生涯学習フェスティバル、大勢の方々が参加されることも非常によいことだと思うのですが、その生涯学習センターに行く交通機関としては、ちゅうバス等あるかと思うのですが、この案内に関して、ここから乗ってこうやって行けるとか、子どもたちが参加する場合の交通方法、手段をどのような形で教えているのかということと、もう1点、模擬店コーナーがあるのですが、これはどういう団体が模擬店をやるのか、ちょっと教えていただきたいと思ひます。

○委員長（久芳美恵子君） お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） まず1点目の交通手段ですが、ホームページ、パンフレット、それからチラシの中で提示してございまして、パンフレットのほうには地図も含めて、それからホームページのほうにも地図もありまして、自転車でいらっしゃる方が多いので、当日は自転車対策として警備員が詰めております。

2番目の模擬店コーナーですが、これは生涯学習センター1階のレストランがございまして、このレストランの業者と協議いたしまして、そちらのほうで当日、レストランの中で調理したものを、フライドチキンとかフランクフルト、そういうものを当日、前のところですね。噴水がある広場に出して、そこで販売するという形になりますので、衛生面では安心だと思ひます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。よろしゅうございましょうか。

○委員（北島章雄君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにございせんか。北島委員がおっしゃったように、やはりちょっと場所的なことで、行こうかなと思っても二の足を踏んでしまう方が、特に高齢の方々には多いのではないかなと思ひますので、ぜひぜひホームページ等いろいろなところで、こういう交通手段がありますよということを周知いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

それでは、報告・連絡（4）第16回府中市生涯学習フェスティバルの開催について、了承いたします。



◎第13回みんなのスポーツdayの開催について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡（5）について、生涯学習スポーツ課、お願ひいたし

ます。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） それでは次に、第13回みんなのスポーツdayの開催についてご報告いたします。お手元の資料5をご覧ください。まだ印刷の途中でカラーのチラシではなく、白黒のチラシでご確認ください。

10月12日（月）祝日、体育の日にふさわしく、各地域体育館を無料開放して、市民がスポーツに親しむきっかけづくりとなるよう、各地域体育館の特色を生かしたスポーツ体験とアトラクションを開催するものです。各地域体育館6館、本宿、四谷、栄町、日吉、押立、白糸台で、記載のとおりラリーテニス、バドミントン等を実際に体験していただくとともに、特別企画、見るスポーツとして、それぞれ東京女子体育大学新体操部、トランポリン部、東京農工大学、東京外国語大学、明星大学、FC東京サッカーチーム、NEC東京バレーボールチームなどにご協力をいただき、プレーや演技をご披露いただきます。体育指導委員の皆さん、各地域体育館運営協議会の全委員の皆さんが、最初から会議を重ねまして実行委員会をつくり、準備していただいております。

「広報ふちゅう」やチラシの配布などでPRして、市民の参加を呼びかけたいと思っております。

本年度も9月末ごろ、市内小・中学校の児童・生徒の皆さんにチラシの配布をいたしまして、全校にポスターの掲示をお願いしようと考えております。

以上で生涯学習スポーツ課からの報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） みんなのスポーツdayということでございますが、いかがでございますでしょうか。10月12日の体育の日です。

例えば本宿の体育館に行ってみようかな、そしてバドミントンをやってみたいなと思う人は、前もって参加の希望を伝えるとか、そういうことが必要なくて、当日、支度だけして来てくれればいいのか、その辺はどういうことになっていますでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） 体育シューズ、いわゆる上履きだけ持ってきていただければ、当日、自由に参加できます。また、入口のところで一応名前を書いていただいて受け付けをいたしますけれども、当日、無料で、予約しなくても参加いただけます。

○委員長（久芳美恵子君） 続けて、例年一つの体育館で大体どのぐらいの方々をご参加いただいておりますでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） すみません、今、数字を持ってこなかったものですから、大体の数字ですが、それぞれの体育館によって違うのですが、200人ぐらいの参加者が午前中だけであるということです。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました、ありがとうございます。

はい、どうぞ。

○委員（北島章雄君） 府中市の各体育館で行われるわけなのですが、まずこの各体育館で行われている種目なのですが、例年と比べて変わっている種目があるのかどうかというのと、それから参加される年齢ですね。児童・生徒が多いのか、それとも年齢的に年代の高い方が多いのか、ちょっと教えていただきたいと思えます。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） まず種目について変わっているかということですが、ほぼ例年と同じようなメニューになっております。これについては、各体育館の運営協議

会の皆さん、それから体育指導委員の皆さんで決めていくのですけれども、多少、ラリーテニスのかわりに今年はこのものをやってみようとかというのがありますが、ほぼ同様です。

それから、参加する人の中身なのですが、お子さん、小学生が半分ぐらいで、残りの半分ぐらいはそのお父さんお母さん、それからご高齢の方と、大体そのような割合になっております。以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ということでございますが、いかがでしょうか。

ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしゅうございませうか。

それでは、報告・連絡（5）第13回みんなのスポーツdayにつきましたして承いたします。よろしく願いいたします。



◎第52回府中市民体育大会秋季大会の開催について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（6）につきましたして、同じく生涯学習スポーツ課、願いいたします。

○スポーツ振興推進担当副主幹兼国体準備担当副主幹（安齋 勉君） 第52回府中市民体育大会秋季大会につきましたして、お手元にごございます資料6の実施要項に基づきましたしてご説明いたします。

この大会は、市とNPO法人府中市体育協会が主催いたしまして、体育協会に所属いたしません各連盟が主管し、9月20日（日）から11月1日（日）までの約40日間にわたりまして開催されます。

応募、出場資格は、市内在住・在学・在勤で、既に出場者の募集は終了してございまして、野球競技の4,175人を初めといたしまして、1万6,387人の応募がありまして、昨年の1万6,276人と比較いたしますと、約100人の増となっております。

競技種目といたしましては、市内外にごございます各種スポーツ施設を競技会場といたしまして、陸上競技など例年同様の28競技種目は記載のとおりでございます。

なお、教育委員の皆様には、9月20日、陸上競技場で午前9時20分から行われます開会式典につきましたしてご列席のご案内を差し上げますが、日本体育大学のチアリーディングの公開演技もございませうので、お時間の許す限りご列席をお願いいたします。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。第52回府中市民体育大会秋季大会でございませう。何分にも長期にわたって開催されますものでございませう。多数の競技でございませう。いかがでございませうか。ご質問、ご意見等どうぞ。

開催される競技でございませうが、参加の人数は昨年より100名ほど多くなつたというご報告は受けましたが、その競技の増減ですか、その辺はどうなのでしょう。大体、毎年同じなのか、増えたものが今年あるのかどうかとか、その辺はいかがでございませうか。

○スポーツ振興推進担当副主幹兼国体準備担当副主幹（安齋 勉君） エントリー種目につきましたしては、例年どおりでございませう。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでございませうか。はい、お願いいたします。

○委員（北島章雄君） 会場が府中市内ですと、交通手段も、自転車で回るのも行けると思うのですけれども、府中市外になつてしまつると、市民ハイキングは市バスを利用と書いてあり

ますけれども、ほかはみんな各自で、個人で参加ということになるのでしょうか。

○スポーツ振興推進担当副主幹兼国体準備担当副主幹（安齋 勉君） 委員お話しのとおり、バス以外ですと、個人の参加になります。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ほかによろしゅうございましょうか。

これ、去年は私、閉会式に参加させていただきましたが、何か天候のことで、まだ最終的な結果が出ていないのだという競技もございました。何分にも天候次第ということもございます。どうぞ皆様、元気でやっていただけるようお願いいたします。

それでは、報告・連絡（6）につきまして、第52回府中市民体育大会秋季大会の開催につきまして、了承いたします。



◎企画展「多摩川で／多摩川から、アートする」について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（7）でございます。美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） それでは美術館から、お手元の資料によりまして、次回の企画展についてご報告いたします。

9月19日（土）から11月3日（火）祝日までの期間で、「多摩川で／多摩川から、アートする」を開催いたします。東京都と神奈川県との境を流れて東京湾にそそぐ多摩川、大都市圏の住人にとって身近な自然である多摩川は、数々の美術作品の誕生にかかわってきました。1980年代以降、多摩川で発表され、あるいは多摩川から影響を受けてつくられた70作品を、展示会場を2部構成して紹介いたします。第1部は、戦後美術の四つの出来事にまつわるドキュメントや作品の紹介、第2部は現代を代表する6作家の作品群を通して、日本人の精神に深く根差している自然観、風景観を見つめていきます。

主な関連施策といたしましては、10月24日（土）には、北京オリンピックのディレクターを務めた中国を代表する現代作家である「蔡國強と府中丸玉屋小勝煙火展」と題した講演を初め、ワークショップの「サイトシーイングバスで府中の風景再発見！」では、美術館周辺を運行するカメラバスの車内で、上下左右反転した風景の変化を、懐かしくて新しい映像として体験いたします。

そのほか、出品作家によるアーティストトークや、ドキュメント素材ビデオ上映会、ギャラリートークなど、盛りだくさんの展覧会となっております。

なお、会期中の9月21日の敬老の日は、70歳以上の市民の方々に、本展覧会の無料観覧のご招待案内をしております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。美術館からのご報告ですが、何かご質問、ご意見等ございましたら、どうぞ。

それでは私のほうから、今、9月21日は70歳以上の方が無料だということですが、確か市民全員が無料で入れる日というのがありましたよね。それとは別のことですか。

○美術館副館長（石井順子君） 無料観覧日は別の、毎年10月14日、美術館が開館した日なのですけれども、その近辺で一番、市民の方々に影響のいい展覧会をやります。今年は11

月にずれますが、11月15日(日)に「ターナーから印象派へ」、こちらの展覧会をやります。これはまた別として、敬老の日は芸術劇場のほうで敬老大会がございまして、それに行く前、午前、午後とございますから、ぜひ美術館のほうにも寄っていただくということで、これは別に敬老の日にご招待をしているという形です。

○委員長(久芳美恵子君) はい、わかりました。11月15日、すごく混むでしょうね。それとは別で、敬老の日の関連で、9月21日は70歳以上の方は無料ということでございました。

ほかにいかがでしょうか。よろしゅうございませうか。いろいろワークショップであるとか、ギャラリートークであるとか、アーティストトークであるとか、いろいろ企画をさせていただいてありがとうございます。秋はスポーツ、芸術と行事がいっぱいございまして、担当者の方はぜひ体調を崩さないように、どうぞよろしく願いいたします。



◎新型インフルエンザへの対応について

○委員長(久芳美恵子君) それでは、その他でございますが、何かございませうか。はい、お願いいたします。

○教育部副参事兼学務保健課長(田中陽子君) 新型インフルエンザについて、夏休みと現在の状況をご報告させていただきたいと思っております。今、お手元に配らせていただきましたが、「2学期以降の新型インフルエンザ感染予防策の実践及び対応」ということで、8月27日に各学校長に配付したところでございます。これにつきましては、2学期につきましては、児童・生徒への指導、また学校における取り組み、教職員に対してこういう形でやっていただきたいということを学校へお知らせいたしました。

この8月27日にお知らせした後に、東京都から28日に新型インフルエンザによる臨時休業等の基準というものが発表されました。それに基づきまして、府中市教育委員会としても基準をつくったほうが、学校がより対応しやすいだろうという形で、基準をつくらせていただきました。その基準が、お手元にある「新型インフルエンザの対応(学級閉鎖等)」でございます。

この基準でございますが、少し説明させていただきますが、まず学級閉鎖でございます。1番目の学級閉鎖、こちらの判断の基準といたしましては当該学級の児童・生徒のおおむね10%以上、また、そのうち最低2名のA型陽性者がいるということを基準といたしまして、学級閉鎖の期間は4日程度を基準とする、このような学級閉鎖の基準をつくらせていただきました。

また、2番目といたしましては、学年閉鎖でございます。学年閉鎖につきましては、判断の基準といたしますと、既に学級閉鎖をしている学級以外に、同一学年の学級でおおむね10%以上の児童・生徒が感染した場合は学年閉鎖をいたしますというところで、期間としては4日程度としております。

次に、もっと拡大した場合、学校閉鎖になります。これにつきましては、その学校の半分以上が学年閉鎖になった場合は学校閉鎖とすると。

1番、2番の学級閉鎖及び学年閉鎖につきましては、校長先生が学校の様子を見て判断する。3番目の学校閉鎖につきましては、設置者が決定するという形で実施してまいります。

学校行事の実施につきましては、4番目です。これにつきましても、学校に合わせまし

た基準をつくらせていただきました。例えば(1)として遠足や社会科見学等について、これについては、当該学年が学級閉鎖または学年閉鎖となっている場合は中止または延期とし、また修学旅行等の宿泊のある行事につきましても、当該学年が学級閉鎖または学年閉鎖となっている期間は中止、延期という形で、運動会、また学校及び道徳授業地区公開講座等につきましても、基準をここで明記してございます。

また、その他といたしまして、5番目なのですが、児童・生徒が発症した場合、また児童・生徒の保護者が発症した場合も、ここに記載のとおり決めてございます。

府中市教育委員会研究協力校の研究発表会についてとか、また府教研の事業、PTAの事業等も、この基準に沿った形でお願いをしております。

また(7)につきましても、教育委員会主催行事という形で、先ほどもご質問がありましたけれども、給食展のときはどうするのだというときには、過半数の市立学校で学級閉鎖等が発生した場合には、中止または延期といたします。

現在、府中市内の学校では、まず9月4日に南町小学校の5年1組が学級閉鎖になりました。次に七小の方で3年1組がなっています。南町小学校の5年生につきましては、やはり感染が強くて、隣の学級にもうつったとのことで、学年閉鎖になっております。9月8日から5年生を学年閉鎖にしたのですが、やはり6年生の方にも拡大していったということで、9月9日から6年生が学級閉鎖をしないで学年閉鎖になっています。これは9月8日の段階で2学級とも欠席が5名以上出て、陽性が3名以上出てしまって、学校としては学年閉鎖にするしかないという形で、こういう措置をとっております。また、本日なのですけれども、第五小学校3年1組の32名中5名欠席、うち3名がA型の陽性ということで、明日から学級閉鎖に入るという形で、現在市内の学校では、4校の小学校で学級閉鎖または学年閉鎖になっている状況でございます。

1週間以内に集団、クラス、部活動等で2名以上のA型の陽性が出た場合には、報告をいただいております。今、全体的な府中市の小中学校ですが、ほとんどの学校で報告がなされております。うつっていない学校は中学校が2校、小学校が3校、すべて東部の学校ですが、報告があがっていません。それ以外の学校では、各学級で何件か出ているところです。夏季休業中につきましては、8月の下旬には第八小学校で非常に多く発生しました。これについては、近くの保育園で発生したものに感染したというところから来ています。現在、市内の保育園でもかなり発生しておりまして、八幡保育所では40数名出たのですけれども、やはり兄弟関係においてもこれは感染力が強いことでかなり出ているということでございます。新型インフルエンザについてはそういう状況ですので、毎日私どもの方も、これについては注視しております。学校からの情報が入るたびに全学校に知らせて、感染の把握に努めています。ただ、まだ宿泊行事が残っておりまして、今現在、九小と武蔵台小が八ヶ岳に行っております。そして第二中学校が修学旅行に行っておりますが、3校とも元気だということで報告をいただいております。ただ、まだ中学校で、あと修学旅行が1校、自然教室が1校、そして小学校の移動教室が7校残っておりますので、最後が10月17日にあるのですけれども、やはり、今日の昼休みにある学校の保護者から、移動教室に行かせるのが非常に心配だと、対策を講じてほしいというようなことで連絡が入っているのですけれども、やはりこういうことについても学校と連携を取りながら、マスクを持っていくとか、37度以上だったら同席させないとか、いろいろ

な形で、宿泊先に蔓延しないような形で努めているところです。新型インフルエンザへの対応については以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

これは、日々状況が変わりますので、対応が本当に大変だと思います。ご説明ありがとうございました。このことについてはいかがでしょうか。ご質問、ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは新型インフルエンザへの対応について了承いたします。ありがとうございました。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） その他にはいかがでしょうか。ございませんようでしたら、教育委員報告にまいますので、お願いいたします。

○委員（北島章雄君） 北島より報告させていただきます。

8月29日と30日、府中市青少年音楽祭、合奏の部と合唱の部に出席させていただきました。参加される団体の方々の練習の成果が見え、とても楽しく聴かせていただきました。出場された団体の方々は、観ている方々を惹きつけ、また、観ている方々は、その技量を見極めるという感じでした。

8月30日には市民体育大会夏季大会水泳競技会の開会式に参加いたしました。不安定な天気の中で行われたのですが、出場されている選手たちは本当に元気いっぱい、観ている方も一緒に泳いでいるような気分にさせていただきました。本当によかったと思います。

そしてその後、武蔵府中熊野神社古墳保存整備竣工式に参加いたしました。式典の最中、今にも振り出しそうな天気でしたけれども、式典と見学の際は大丈夫で、その後テントに移ったらすごく雨が降ってきました。天が助けてくれたのかなと思いました。また、テントの中には塗り絵コーナーがあって、熊野神社古墳保存会のキャラクターのくまじいさんの塗り絵が展示されておりました。五小と本宿小でしょうか、1年生が本当にカラフルな塗り絵をしていたのを見させていただきました。

以上です。ありがとうございます。

○委員（谷合隆一君） 谷合から報告します。

私も北島委員と一緒に、8月29日に行われました府中市青少年音楽祭の合奏の部を拝見させていただきました。昨年行ってから1年経っていますので、参加している生徒もそれなりに入れ替わっていると思うのですが、各団体が大変腕を上げているな、聴いていて気持ちがいいなという気がいたしました。ただやはり、例年そうなのですが、女子生徒が大変多く参加していて、男子の児童生徒が少ないというのが印象です。もっと男の子も頑張ってきてほしいなと思います。

以上です。

○委員（崎山 弘君） 崎山です。

先日、9月8日に田中副参事、三小の平原校長先生と集まり、日光林間学校の時に発生したインフルエンザの流行状況について説明を受けました。今回こういうことが起こって、これからも学校がいろいろと対応を求められていると思うのですが、何を対応してよいかわからない状況だと思うのです。それは全校同じで、手探り状態なのなのですが、今回の三小の

林間学校に関しては、きっちりデータを取ってある。記録がすごく緻密だったのですね。それをもとに、分析をしているところなのですけれども、私とそのデータを見て驚いたのは、熱発してすぐ隔離しているにもかかわらず、うつっているということなのですね。具体的に、2日目の朝に発症しているのですが、検温では熱がなかったのですが、朝食を食べた後に熱が出た。2日目の朝、それがわかって隔離しているにもかかわらず、1日目のバスで隣同士とか近くにいた人がうつっているわけですね。その人はもう同じバスには乗っていません。ですから、熱発する前に感染力があるということがわかりました。一般論として、発症する前日からうつることもあるのですよと、我々医者も説明はしているのですけれども、これほどまでに如実にわかるのははじめてだと思いました。また、その子が熱発したのは朝なのですけれども、一晩部屋にいた子どもたちはかなりの発生率なのですね。やはり熱発する前に一晩ただけでうつるのですね。ということは、熱が出たら来ないようにという言い方はできるのですけれども、熱が出る前からうつることがあるのだということは十分認識しておかなければいけないのかなど。でも何もできないのではないかというわけでもないのですね。熱が出てからきっちり隔離して、あるいは3日目にマスクをして帰ってきているのですね。そうすると1日目の晩に一緒だった人は、発症はしているのですけれども、発症した人の隣の人は、帰りのバスでうつってはいないのですね。もう少しデータを分析すると、学校はこれから流行が起こった場合に、どういう対応をしたらよいかが見えてくるような気がするので、それを、学校医をやっている木田先生と、あと三小に息子さんが通っている小児科医の先生とも相談しながら、もう少しみなさんに還元できる形で、学校でこういう形で対応したらいいのだという、ある程度仕様が出せる形で今まとめておりますので、それを形にしてみなさんに報告したいと思います。これからまだインフルエンザのシーズンが続くわけですし、これからむしろピークが来たりするかと思うので、何か利用できるような形にしたいと思っております。せめて来月の教育委員会までにはまとめてみたいなと思っております。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） 私の方から2点でございます。

8月29日の府中市青少年音楽祭につきましては、先ほど北島委員、谷合委員が報告したとおりで、内容については特に付け加えることはございません。校長先生にお会いしましたが、インフルエンザで開催されないのではないかと、本当に気が気ではなかったと。子どもたちが一年間頑張ってきたので、それが開催されて本当によかったというお話をなさっていたのが印象的でした。たまたまその前の日でしょうか、どこかの県の合唱祭を観客がいないホールでやっているというテレビの放映を見ておりましたので、こんなことになったら発表する士気に影響するのではないかと思っていたものですから、本当に開催されてよかったと思っております。

そして翌日でございます。第52回の市民体育大会、夏季大会の水泳競技会ではありますが、台風が近づいていて、少し水が冷たい日でした。1番最初にありました女子200mメドレーリレーのタイム決勝の中学対抗というので、明星中学のチームが2分13秒という大会記録で、その前の大会の記録を3秒以上大幅に上回るタイムで優勝しました。これはたぶん平泳ぎの選手がびっくりするような早いスピードでしたので、この選手の力が大きかったのかなと思えますが、一般記録よりも、この中学生対抗の記録の方が上回ったということでもございました。

そしてその後、10時から、国史跡武蔵府中熊野神社古墳の保存整備竣工式に参加させていただきました。以前石室内の見学の時には、本当に想像もつかなかったような立派な上円下方墳の全容に非常に感動しました。こういうものが7世紀の半ばにつくられていたというのはすごいなと思いました。古墳の外側を石がびっしり埋め尽くしているのですが、1300年を経て土に覆われていた石があらわれたわけなのですけれど、もとの石が少し、全部ではなくて10分の1くらいが使われているのですが、すごく茶色味を帯びたものでございました。これはどこから来たかという、多摩川から引っ張ってきたということなんですよ。今の多摩川よりも少し神社に近いほうを川が流れていたということですが、やはりそれだけの大きい石を運んでくるというのは、相当大変だっただろうし、上円下方墳の主は、やはり相当の権力のある方なのだろうなということが、見てわかりました。それで、いろいろな方がご祝辞を述べられました。宮司さんの話では、保存整備にかけては教育委員会の担当者の熱意がものすごかったと。それを後押ししてくださる議会があり、もちろん市の経済的なこともあるのだろうけれども、そういう担当者の方がいたからこそできたのだ、という一言がございました。時期的には10年以上をかけての保存作業だったと思いますので、それにかかわった皆様が熱意をもってやっていただいたことがあらためてわかりました。本当にありがたいことだなと思いました。是非子どもたちに、残念ながら上円下方墳の周りに入ることができなくて、ちょっと外から見るとしかできないようではございますけれども、こういうものが府中にあるということを知ってほしいなということを考えました。

以上でございます。

それでは、これをもちまして平成21年第9回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。



午後2時37分閉会